



日進北小だより

令和5年1月6日 1月号 第9号
電話 048 (663) 1842 FAX 048 (663) 9884

<http://nisshinkita-e.saitama-city.ed.jp/>

学校教育目標：心身ともに健康で、自ら学び、自ら考え、判断し、行動できる子どもを育成する
～やる気を育む日進北小・授業が楽しい日進北小～



好奇心を刺激する

校長 平塚 信也

明けましておめでとうございます。令和5年が始まりました。「おめでとう」の語源としては俗説とされているものですが「めでた＝芽出た」からきているというものがあります。芽が出るのはそれだけ成長したということを表しています。新年を迎えて人生の階段を一つ上がった。新しい自分になった。などの思いからお祝いのあいさつになったという説です。子どもたちにとっても、芽が出る跳躍の卯年になることを願っています。

今年の正月も近所の初詣以外は、ほとんど家にいる正月でした。まだコロナの終息は見通せませんが3年前を考えてみますと、対応も心持ちも随分と変わったと思います。4年前の暮れに、何か大変なウイルスが流行っているらしいことをニュースで見てから、あっという間に感染が広がり、2月下旬には学校も突然の休校になりました。最初は何が起きているのかさえ、よくわかりませんでした。原因も対策もわからない大変不安な状態でした。それでも卒業式は普通にできるのではないかと楽観視していました。しかし、感染は収まるどころかオリンピックも延期となり、学校が再開されたのは6月になってからでした。そのあとはウイルスの変異と緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の繰り返しで多くの行事を変更しながら、とうとう2023年の正月を迎えることとなりました。

しかし、私たちも進化しなかったわけではありません。ウイルスについて研究が進み、ワクチンが開発されました。研究者の意見や情報を集め、政府や自治体の指示を受け、対処をすることでみんなで行動を変えてきました。学校も情報を基に対策を練り、行事の内容も実施の仕方も進化してきました。世界の中にいる誰かが感染症に興味を持ち、専門の学問として学んでくれ、薬を開発してくれたから我々は恩恵を受けられました。厳しい局面は続き、まだわからないことも多いです。けれど確実に言えることがあります。学ぼうとする意思さえあれば、私たちは絶対にこの危機を乗り越えられるということです。より良き社会を作っていくためには学ぶこと、知識を得ることが力になるということを実感しました。

あまりテレビは見ないのですが、正月特番で「博士ちゃん」という番組を見ました。古代エジプト好きの少女がピラミッドを訪ねて本物を見学し、現地の博士と話をしますが、楽しそうに見学し、自分の仮説を話す姿に感動しました。本当に好きで学んでいることがよくわかりました。「学ぶことを楽しむ」「自分が好きなことを学ぶ」結局それが一番強いんですね。本来子どもには生まれながらに好奇心があります。その好奇心を刺激するためには本物を見せ、体験をさせることが一番です。ただ、なんでも体験できるわけではなく、体験できないことは本を読んで補うこともあると思います。テレビの少女は、母親が買い与えた1冊のピラミッドについての絵本から好奇心を刺激され、興味を抱いたそうです。本を読むことによって、自分の考えを深めたり、広げたりして、「実物を見たい」「体験したい」と興味が高まっていくこともあると思います。その思いが始まりになるわけですし、それがなければ次の一歩に進んでいきません。自ら学ぶという次の一歩を踏み出せば自分自身の成長も実感できると思います。

学校でも、家庭でも、地域でも、子どもたちの「これ面白い」「これ知りたい」「もっと知りたい」「もっとやってみたい」を応援できる社会にしていきたいと思います。本校の重点目標は「授業が楽しい日進北小」です。3学期は54日と短いですが、子どもの好奇心を刺激していきたいと考えています。2023年もご支援、ご協力お願いいたします。